

日 誌 (昭和35年5月)

【国内】

- 7日 ○本行、アメリカ合衆国通貨表示外国為替引当貸付利率を引下げ(日歩1銭1厘を1銭へ)
- 8日 ○米国証券投資視察団来日
- 11日 ○外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利を引下げ(年利6.5%以上を6.25%以上へ)
- 18日 ○日ソ漁業協定調印
- 25日 ○東京、大阪、名古屋各証券取引所、本行出資証券の上場を廃止
- 27日 ○日独貿易交渉妥結(対日輸入自由化の議定書調印)
- 日台貿易交渉妥結
- 31日 ○政府、内地指定預金の第2回引揚げを実施(引揚げ額28.8億円、残額3.4億円)

【海外】

- 2日 ○アイゼンハワー米大統領、対外援助実施状況に関する報告書を議会へ提出
- 3日 ○韓国国会、李大統領の辞任を承認
- 4日 ○ソ連、共産党中央委員会総会(人事問題)開催
○インド、米国余剰農産物の受入協定(4年間に食糧穀物17百万トン)に調印
- 5日 ○ソ連、最高会議開催
- 6日 ○インド準備銀行、準備預金を増額
- 12日 ○フランス、IMF借款50百万ドル返済
○欧州共同市場閣僚会議、ハルシュタイン修正案決定
- 16日 ○GATT第16回総会、ジュネーブにて開催(6月4日まで)
- 17日 ○パリ東西首脳会談、不成立
- 19~20日
○欧州自由貿易連合第1回閣僚会議、リスボンにて開催
- 20日 ○中国(台湾)、蔣総統就任
- 24日 ○フィリピン中央銀行、輸入保証金の引下げなどを実施
- 25日 ○イタリア、対ドル輸入制限緩和を発表
○イタリア議会、IRI(産業復興会社)出資金増額を承認(1,680億リラから3,580億リラへ)
- 27日 ○台湾、台湾銀行の外国為替買入相場の一部に市中相場を適用(1ドル=40元)
- 30日 ○英連邦中央銀行総裁会議、英蘭銀行にて開催(6月3日まで)
- 31日 ○イタリア、GATT総会において再び自由化促進を要請される